



2024年8月9日号  
夏季号

vol. 69

健康的な天然木材の床

# フローリング・ニュース

発行所: 一般社団法人日本フローリング工業会  
編集責任者: 広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F  
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <https://www.j-flooring.jp/>

## 令和6年度通常総会を開催

令和6年度の通常総会は、令和6年3月7日（木）に「ホテルイースト21 東京」（東京都江東区）にて開催しました。



開会のあいさつをする田伏会長＝令和6年3月7日午後3時33分

田伏会長は、「元旦の能登半島地震への関係各位にお祈り申し上げる。東日本震災発生当時は「これからどうなるのか」と右往左往の数年間であったが、現在のあたり前のことがあたり前にできるという環境に感謝を申し上げたい。この数年間、皆様は、新型コロナウイルス感染症、ウッドショック、円安、物価高等の重なる経営環境悪化にご苦労されていると思われる。昨年、インボイス制度がスタートし、3年間の経過措置があるとはいえ不安がある。震災制度としての中小企業へのゼロ融資は、昨年度末から返済が始まり、今年に入って倒産件数が増加しているという。この状況の中、改めてこのように集うことの大切さを皆さんと共有し、業界発展に尽力していくのでご協力をお願いしたい。」とあいさつしました。

総会議事では、令和5年度事業報告・決算、令和6年度の事業計画・予算案が承認されました。

また、コロナ禍のため昨年まで3年間見送ってきた懇親会を昨年に引き続き実施することができ、林野庁木材産業課のご来賓を含め59名の参加をいただき、なごやかな雰囲気にて交流を深めることができました。



## 7月理事会の開催状況

－林野庁から「外国人労働者特定技能制度の運用に向けた状況について」の情報提供－

7月30日に林友ビル（東京都文京区）にて、リモート参加も可能とした理事会を開催しました。会長あいさつのあと、議事に入る前に林野庁から「外国人労働者特定技能制度の運用に向けた状況について」と題して、外国人労働者の制度について情報提供をいただきました。

特定技能制度については、林野庁は今年末の試験実施を目指しており、関係する会員から関心ある意見が寄せられ、林野庁には今後も引き続き情報提供をお願いしました。

理事会議事では、新規入会の申込みについて審議があり、今後、入会申請には一定の情報開示を求める方針が確認されました。また、海外からの申請については会員に部会総会等で情報開示して意見があれば受け付け、次回理事会の参考資料とすることとなりました。



このほか、両部会の今年度の活動方針、合同PRの各地区の予定、技術委員会の活動状況などの説明があり了承されました。

また、次回理事会は、12月4日（水）に昨年度に引き続き大阪市にて開催することが了承されました。



## 中央省庁要請活動を実施

工業会は、中央省庁の翌年度予算案の財務省提出（例年9月1日）に向け、例年7月に木質フローリング振興施策の充実・強化を図っていただくよう、林野庁等の中央省庁関係部署に要請活動を実施してきています。

今年は7月30日に会長、副会長、両部会長にて林野庁への要請活動を実施しました。

田伏会長が、林野庁長官、木材産業課長、木材利用課長に、工業会会員は国産材を活用してきたとした上で、良質で機能的な木質フローリングの開発・製造、安定供給対策を推進し、施工面では管理体制の充実を図り、「木材の良さ」を消費者に理解していただく努力をしてきていると説明し、木質フローリングの振興が木材利用に役立っていることに理解を求めました。林野庁からは、国産材を是非利用して欲しいとのコメントがあり、当方から広葉樹の産出に対する支援をお願いしました。



林野庁長官へ要請



木材産業課長へ要請

## 外国人労働者特定技能制度の木材産業追加（閣議決定）と今後について

政府は、令和6年3月29日、特定技能外国人受入の対象に「木材産業、林業、鉄道事業、自動車運送業」を追加し、今年度、実際に受入実施が可能となるまで当制度の運営詳細を検討・整理し、今年年末には受入のための試験実施を目指しています。

（一社）日本フローリング工業会としても、木材産業の団体としてこの検討・整理に参画し、フローリング業界が特定技能外国人を受入可能とする業種となる対応を進めていくこととしています。

- 今回追加希望が示されている新規分野は**特定技能1号**のみ受入れ可能とする。
- 新規分野等においても、特定技能1号には「相当程度の知識又は経験を必要とする技能」及び「ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することを基本としつつ、特定産業分野ごとに業務上必要な日本語能力水準」が求められ、技能水準及び日本語能力に係る各種試験を課すこととする。

	分野名	業務内容等	技能試験	日本語試験	新たに関連させる技能実習の職種等	分野独自の要件
国土交通省	自動車運送業	バス運転者、タクシー運転者、トラック運転者（3業務区分）	自動車運送業分野特定技能1号評価試験	国際交流基金日本語基礎テスト又は日本語能力試験（N4以上）（「業務内容等」のうち、 <b>青字</b> についてはN3以上）	—	※1（略）
	鉄道	運輸係員（運転士、車掌、駅係員）、軌道整備、電気設備整備、車両製造、車両整備（5業務区分）	鉄道分野特定技能1号評価試験		軌道整備；鉄道施設保守整備 車両製造；機械加工等 8職種19作業 車両整備；鉄道車両整備	—
農林水産省	林業	育林、素材生産、林業種苗育成等（1業務区分）	林業技能測定試験		厚生労働省及び関係省庁において技能実習制度の職種への追加を検討中。	木材加工
	木材産業	製材業、合板製造業などに係る木材の加工工程及びその附帯作業等（1業務区分）	木材産業特定技能1号測定試験			

※2 協議会において協議が調った事項に関する措置を求める（安全対策等を想定）。

首相官邸 HP より



## 建築基準法の4号特例が2025年から変更

2022年（令和4年）に建築基準法が改正され、いわゆる4号特例が2025年（令和7年）4月から変更される予定となっています。

今までは、一定規模以下、都市計画区域外の木造平屋・2階建て住宅は、建築確認・検査を省略できましたが（いわゆる4号特例）、来年4月からは200㎡以下の木造平屋建て建築物以外は、建築確認・検査の対象となります。

このことにより、来年4月以降は木造住宅の建築確認等の集中や、一定の審査期間が生じることが予想され、木造住宅向けのフローリング等建材の販売空白期間が生じると見込まれます。

### 1 「建築確認・検査」「審査省略制度」の対象範囲が変わります



国土交通省 HP より

北海道・東北支部だより

稲荷山 勇雄 北海道・東北支部（空知単板工業株式会社）

今年も早いもので半年が過ぎましたが、木材業界においては良い話を聞くことが少なく感じます。業界紙によると北海道の原木市況は大型連休明けも製材、合板工場の丸太受入は減少したままで、道外向けも埠頭に丸太在庫が増えている状況、東北も合板、製材向けの引き合いが弱い状況が続いているようです。

このような状況に追い打ちをかける様に、今年は全国的に虫の発生が早く、西日本を中心に東北でも目立ち始めているようで、更にはカビの繁殖も懸念される事から原木販売を急いでいるが、人手不足により搬出トラックを増やすことが出来ないため品質低下が懸念されている、と記事になっていました。

北海道では2030年開業を予定していた北海道新幹線の札幌伸延が、工事難航などで数年単位の開業延期の発表があり、コロナ禍が明けて国内外からの観光客が復調している中での水を差されるような発表は残念でなりません。

ところで近年、学校校舎の床に木製フローリングを採用しない物件が多くなっていると思いませんか？理由の一つは学校として使わなくなった後の再利用を考えている事他にも色々な理由あるようです。以前から老健施設では木製フローリングは敬遠されていると聞いていましたが、衛生面の実態を検証された話も聞かない事から噂話だけが独り歩きしている状況は、フローリング業界として変えていかなければならないと思います。

ひとこと

稲荷山 勇雄 北海道・東北支部（空知単板工業株式会社）

北海道も初夏を迎えて千歳空港の週末発着便は観光客が増えて満席状態、ホテルも札幌市内に限らず近隣のホテルも予約しづらい状況で、ビジネスマンにとっては急な出張が組めない状況になっています。

北海道も夏は酷暑が予想されていますが、日中の気温が上がっても夜には気温も下がり寝苦しさをを感じる事は少ないですが、それでも30年前と比較すると暑くなったと実感しています。よって札幌以外の地方でも自宅のエアコン普及率が上がっていますがリビングだけの設置で済んでいるのは、自然豊かな北海道の地方では真夏でも夜は窓を開ければ、涼しい風が入り気持ち良く寝る事が出来るからです。

北海道の雄大な自然界で近年は野生動物が増加、キタキツネが夜中の住宅街を徘徊しゴミ箱をあさる、エゾシカが道路に突然飛び出して自動車との衝突事故が増える等は、北海道らしい出来事と笑えます。しかし最近ではヒグマが山から下り道路で目撃されることも増え、遭遇すると命に係わる事でもあり、自然が豊かと喜んでいられない状況に成りつつあります。

皆様も北海道旅行の際には十分に注意をしてください。



●広報法務委員

委員長 石本 勝範  
 委員 佐藤 仁明 委員 矢野 伸和  
 委員 清見 謙造 委員 當舎 弘造

●告知板

10月16日(水) ……施工流通部会総会(新潟)  
 11月12日(火) ……生産部会総会(東京)  
 12月4日(水) ……第3回理事会(大阪)

●会員動向 令和6年8月1日時点

正会員 45社  
 賛助会員 17社  
 合計 62社

編集後記

1月1日に御屠蘇が始まったところで発生した能登半島地震にはホントに驚きました。被災されました皆様のご冥福をお祈りするとともに、早期の復興を切に願っております。今までの被災とは違い、人口減少により限界集落に近づきつつあった被災地が多く、半島を巡る街道が分断されてしまったこと、地域解体業界の弱体化などもあり、厳しい状況が続いていると聞いています。人口減少による影響は、新築住宅着工数の減少、平屋の増加による床面積減少などフローリング業界でも生じ始めました。既に業界というより日本全体の課題となってしまったのかもしれない。

